



クリーンセンターだより



発行：日野市クリーンセンター ☎ 042-581-0444 FAX 042-586-6606

新施設稼働に向けた説明会を開催しました

開催日 令和2年2月24日（月・祝）・29日（土）

参加人数 延べ137名

会場 新井地区センター・平山季重ふれあい館・市民の森ふれあいホール

- 議事
- 挨拶
 - 新可燃ごみ処理施設
 - 施設概要
 - 環境対策
 - プラスチック類資源化施設
 - 施設概要
 - 分別の状況及び分別のお願い
 - 質疑応答



※当日配布資料は、市HPでご確認いただくことができます。

【主な質疑応答】

Q：30年後に向けての状況はどうなっているか

A：3市の連絡会なども始めているが、まだお示しできるようなものがない。立地を含めて早めの説明が必要という認識は持っている。

Q：試運転を始めてからのごみ量や搬入車両の台数はどうか。

A：1月の受入れ実績は、3,252台、約3,964t。平均すると163台/日、198t/日。この台数は計量棟で受付したもので、北川原公園を通行した台数はこれより20台から40台程度は減る。2月の受入れ実績は、平均すると202台/日、223t/日となり、北川原公園の走行台数は160台/日となる。

Q：公害防止協定を締結しないのか。

A：既存施設においては公害防止協定を締結していないので、組合では協定締結も見据え、本格稼働の1年以上前から動き出し「環境保全基準（案）」を作成した。協定がなくても、約束事として宣言をし、公表することで、実質的な公害防止協定となるようにした。

今後、クリーンセンター連絡協議会等の場で提案をし、議論を重ね、公害防止協定締結を目指して進めていく。

Q：プラスチック類はどのように資源化されているのか

A：1月から収集開始したプラスチックは、まだ試運転状況の中での資源化を行っている。プラスチック製容器包装は、製鉄所のコークスとして100%リサイクルされている。今後市民の皆様にもHPなどでお知らせしていきたい。

※その他の質疑応答の内容は、まとめ次第市HPに掲載いたします。

第7回クリーンセンター連絡協議会を開催しました

開催日 令和2年2月11日（火）午前11時00分から

会場 クリーンセンター袋倉庫2階 会議室

出席自治会 新石自治会、新井自治会、落川上自治会、百草園団地自治会、百草園自治会

当日の内容

(1) 日野市からの説明 ※質疑等はありませんでした。

①プラスチック類資源化施設の試運転状況について説明を行いました。

(2) 浅川清流環境組合からの説明・主な質疑

①新可燃ごみ処理施設の試運転状況について説明を行いました。

Q：新施設の屋根から煙のようなものが見えるが、何か。また、試運転当初、大きな煙が見えたが、それは何か。

A：煙のように見えるのは水蒸気です。常に建物屋上から出ていますが、焼却炉を立ち上げて蒸気タービンを動かすまでの間は、水蒸気を逃がすためにいつもより多く発生します。

昨年末に見えた煙のようなものも水蒸気です。蒸気タービンにつながる高圧蒸気配管に付着しているチリやほこりを取り除くために蒸気を利用して作業を行いました。試運転当初の3日間だけの作業ですので、今後行うことはありません。

Q：売電で得た収入はどうなるのか。3市で分け合うのか。

A：売電で得た収入の全額を可燃ごみの処理費用にあてます。全額あてても不足しますので、3市の負担金でまかなっていきます。

(3) その他

①周辺自治会対象の施設見学について説明を行いました。(自治会回覧をご確認下さい)

②今後の会議について

施設稼働後となる令和2年度よりクリーンセンター連絡協議会は、会則の規定に基づき、年4回から年2回に変更して7月頃と翌年2月頃に開催することになりました。

当日の資料は市ホームページでご確認いただくことができます。

会議の要点録は、作成次第、市ホームページに掲載します。

施設見学について

クリーンセンタープラスチック類資源化施設及び新可燃ごみ処理施設の一般見学は5月中旬から開始できるよう準備を進めています。申し込み方法などは4月15日号広報に掲載する予定です。皆様のお越しをお待ちしております。